

# まちの整備と発展へ 72億円

令和2年度の当初予算が3月5日から16日までの会期で開かれた議会定例会3月会議で議決され、一般会計と特別会計、企業会計の総予算額は72億6052万2千円となりました。  
 一般会計は、50億4200万円で、前年度(令和元年度)と比較して1500万円(0.3%)の増額となりました。

## 主な事業と予算額 (注は新規事業)

### 投資事業

- 平泉スマートインターチェンジ整備事業 …… 3億880万円
- 町道整備事業(祇園線、佐野原祇園線、ねずみ沢線、宿1号線) …… 2億6899万円
- 社会教育施設整備事業 …… 1億6360万円
- 史跡保存修理事業(無量光院跡、名勝旧観自在王院庭園) …… 8448万円
- 発掘調査事業(町内遺跡群、志羅山遺跡、中尊寺など) …… 5430万円
- 橋梁長寿命化事業 …… 3000万円
- 平泉小学校パソコン更新事業 …… 2200万円
- 消防ポンプ自動車購入費 …… 2000万円
- 生活再建住宅支援事業 …… 880万円
- 浄化槽設置整備事業補助金 …… 678万円
- 県営農村地域防災減災事業負担金(北照井地区) …… 660万円
- 県営かんがい排水事業負担金(東稲第2地区) …… 310万円

### 主要事業

- 地域経済牽引事業 …… 1億3500万円
- 中山間地域等直接支払制度事業 …… 6737万円
- 多面的機能支払交付金事業 …… 5012万円
- 医療費助成(重度、こども医療、妊産婦、ひとり親、町単独) …… 4841万円
- 予防接種事業 …… 2592万円
- がん等の検診事業 …… 2002万円
- 放課後児童対策事業 …… 1386万円
- 世界遺産登録10周年機運醸成業務事業 …… 1000万円
- 東北観光復興対策交付金事業 …… 660万円
- 妊婦・乳幼児委託健康診査 …… 610万円
- 東稲山桜情景復活事業 …… 563万円
- ゆうちょ銀行・コンビニ収納導入事業(税・住宅使用料) …… 547万円
- 国際交流員活用事業 …… 526万円
- 地域活力推進事業 …… 500万円
- 放射線量低減化対策事業 …… 473万円
- 企業立地資金利子補給事業 …… 300万円
- 農産物検査、給食食材検査 …… 295万円
- 少子化・定住化事業 …… 174万円
- 和風建築物普及事業 …… 140万円
- 協働のまちづくり事業 …… 115万円
- 浄土の拠点施設事業 …… 115万円
- プログラミング教室委託事業 …… 40万円
- 世界遺産登録10周年記念事業実行委員会事業 …… 30万円

### 一部事務組合等負担金

- 消防事務委託負担金 …… 1億3717万円
- 一関地区広域行政組合負担金(介護保険部門) …… 1億4094万円
- ” (環境衛生部門) …… 1億3843万円
- 給食事務委託負担金 …… 1088万円
- 市町村総合事務組合負担金 …… 577万円
- 岩手県自治会館管理組合設備更新負担金 …… 45万円

### 町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、2年度末残高見込みは全会計合わせて87億6806万円で、町民1人当たりすると約117万円となります。

町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

### 地方債現在高(見込み) (単位：万円)

会計別	令和2年度	令和元年度	比較
一般会計	470,514	467,476	3,038
下水道事業特別会計	—	197,368	△197,368
農業集落排水事業特別会計	—	51,920	△51,920
下水道事業会計	238,955	—	238,955
水道事業会計	167,337	155,383	11,954
合計	876,806	872,147	4,659

### 各会計別総括表 (単位：万円)

会計別	令和2年度	令和元年度	比較	
一般会計	504,200	502,700	1,500	
国民健康保険特別会計	75,140	77,120	△1,980	
後期高齢者医療特別会計	8,880	8,360	520	
健康福祉交流館特別会計	7,590	6,950	640	
町営駐車場特別会計	6,650	6,830	△180	
下水道事業特別会計	—	30,050	△30,050	
農業集落排水事業特別会計	—	7,290	△7,290	
下水道事業会計	3条予算	30,287	—	30,287
	4条予算	26,362	—	26,362
水道事業会計	3条予算	29,099	28,664	435
	4条予算	37,844	34,746	3,098
合計	726,052	702,710	23,342	

※単位未満を四捨五入しているため合計などが一致しない場合があります。

※下水道事業特別会計および農業集落排水事業特別会計は、令和2年度から下水道事業会計へ移行しました。

一般会計の町民1人当たりの予算額は**675,147円**(660,231円)となります。

民生費	土木費	教育費	総務費	公債費
146,202円 (139,222円)	121,735円 (144,977円)	108,128円 (92,821円)	91,967円 (78,118円)	60,304円 (56,846円)
衛生費	農林水産業費	消防費	商工費	その他
43,969円 (42,939円)	43,771円 (42,660円)	28,224円 (31,468円)	17,074円 (18,928円)	13,773円 (12,252円)

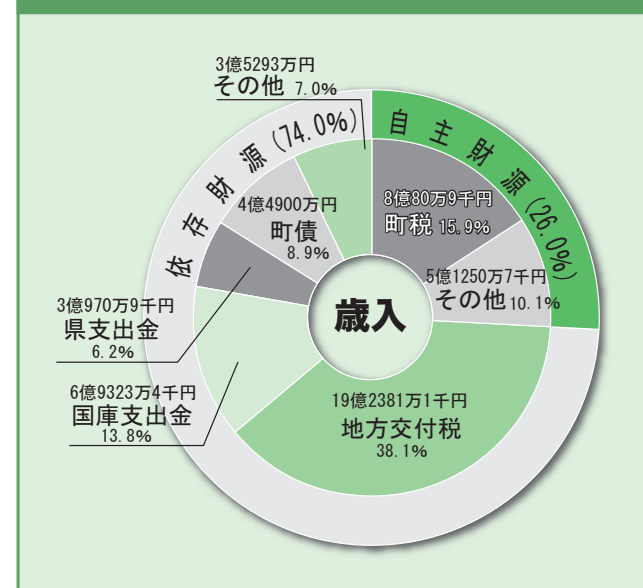
※令和2年3月1日現在の人口7,468人、( )内は前年度の数値、平成31年3月1日現在の人口7,614人でそれぞれ計算(外国人住民を含む)

### 歳入

歳入を見ると、自主財源では繰入金や諸収入の増額により、全体で13億1331万6千円と、前年度当初比5056万9千円の増額となりました。

依存財源では、国庫支出金、地方特例交付金などの減額が見込まれ、全体で37億2868万4千円と、前年度当初比3556万9千円の減額となりました。

### 一般会計歳入



### 歳出

歳出を目的別に見ると、民生費が10億9184万円と最も大きな割合を占めています。次いで、土木費が9億911万7千円、教育費8億750万1千円、総務費6億8681万2千円、公債費4億5034万7千円、衛生費3億2836万、農林水産業費3億2688万1千円、以下消防費、商工費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は、道路改良事業などの普通建設事業が10億1399万7千円、災害復旧事業が

1155万円と、前年度当初比1億8693万6千円の減額となっております。

義務的経費については、人件費は会計年度任用職員制度の実施により9861万9千円の増、扶助費は児童福祉費の減などにより314万3千円の減額となりましたが、公債費が4億5032万9千円と前年度当初比1752万6千円の増額となり、全体で20億9532万3千円と、前年度当初比で1億1300万2千円の増額となりました。

### 一般会計歳出

